

答辞を述べる井上さん＝23日、福井市の高志中



高志中1期生 志新た 88人 晴れやか卒業式

県内初の公立の併設型中高一貫教育校として2015年に開校した福井市の高志中で23日、初めての卒業式が開かれた。1期生88人全員が高志高に進学。間もなく始まる高校生活への決意を新たに示した。

在校生の送辞に続き、井上開人さんが答辞を述べ、「中高一貫校として恵まれた環境にいたることを実感した3年間だった。高校では今まで以上に切磋琢磨し充実した日々を過ごしたい」と決意を表した。

卒業生らは晴れやかな表情で校歌を高らかに斉唱した。式後は福井にまつわる各自の関心事を調べる「高志学」の発表があり、卒業生2人が3年間の集大成を披露した。

(杉本拓磨)

式には卒業生をはじめ、在校生や保護者、教職員ら約550人が出席。一人一人の名前が呼ばれると、卒業生は引き締まった表情で力強く返事をした。代表の竹内陽香さんに卒業証書を授与した山川満寛校長は「道なき道を切り開く『イノベーター』としての役割をしっかりとやり遂げた」と初の卒業生を祝福した。